

が見れば馬鹿ではないかと思われるほど嬉しい。洞口に登りつき、これほど地上の世界が美しいと感じられるのは幸福である。かくして最深部はおとされた。青海千里洞に続いてマイコミ平の洞窟の調査が行なわれた。その結界以前から目をつけられていた銀路洞は洞窟がなくドリーネ内の雪溪とドリーネの壁に出来たシュルンドを下ったのみであった。またその結果とは逆にすばらしい洞窟、銀鳳洞も発見出来た。この洞窟は洞口に関しては千里洞より大きいと思われる。こんな大きな洞窟が今まで人間の目にふれられず残っているとはマイコミ平の秘境さに新ためて驚かされる思いである。

※

※

※

下山の日は朝からあわただしい。これでアブと別れることが出来ると思うと淋しさの中にも嬉しさが隠せない。忙しいにも皆の活気が渦巻いているようだ。ここまで来るのに行きは4時間半かかったのに帰りは1時間である。皆のペースも自然と早くなってくる。林道の最終点で待っているトラックが見えるのも、もうすぐだろう。

13. 記 録

第1次～第5次調査

集 録 内 田 典 夫

第1次青海小穴調査記録

記 ・ 川 上 正 明

期 日：昭和40年8月16日～27日

隊員構成：松本(C.L.)、三戸(S.L.)、藤井(装備)、岡崎(食糧)、川上(記録)
高橋 水島 岩本

8月16日

18:00 大阪駅集合

22:20 新潟行にて出発 松本以下7名

8月17日

- 9:35 青海駅着 青海町役場の松野氏の出迎えを受ける。
荷物のみ、福来口まで運搬
中島にて連絡本部の井上さんと会い、日本石灰石開発株式社の車に乗せてもらう。
- 10:00 会社にて活動予定・目標の再確認
- 11:00 南ベンチより入山
最初から急な登り、そして梯子を登って行くが気持のみが先走り、足進まず。コースを間違ひ、そして溜沢ブッシュ。真夏の日射、それ以上に40Kgを越すザックを背負っての行動は前途多難。
- 16:00 松本、川上、コース偵察(1時間30分程)
途中までしか確認出来ず、これより、水場ないため近くにて、テント設営。
- 20:00 夕食
- 20:30 ミーティング

8月18日

- 6:00 朝食
- 6:30 松本、川上、藤井、ルート偵察～B.C(ベースキャンプ) 確認
三戸、岡崎、高橋、水島、岩本、第2ルート偵察
- 12:50 約半分の荷物をテント地へ運ぶ。
- 16:30 テント場に帰ってくる。

8月19日

- 6:00 朝食
- 7:00 出発
- 11:20 B.C着 (偵察時のテント場より700m上流)
- 午後 ワイヤ梯子設置(洞口からルート66の第1テラス) 三戸

8月20日

- 6:00 朝食
- 7:00 出発
- 7:50 入洞開始
設 置:A班…松本、川上、藤井(ルート66)
第1テラス:B班…三戸、岡崎、高橋、水島、岩本

8月21日

8:00 入洞開始

{ A 班: 川上、三戸、水島
第1テラス: 高橋、岡崎
B 班: 松本、高橋、岩本

8月22日

{ A 班: 松本、高橋、岩本 (第II Hに達する)
第1テラス: 藤井、川上
B 班: 三戸、岡崎、水島

8月23日 (休養日)

8月24日 (雨天、行動中止)

8月25日

{ A 班: 三戸、岡崎、藤井、高橋、水島
第1テラス: 松本
B 班: 川上、松本

ルート66のワイヤ梯子のうち、内・下部20m切離し、第II H以降に設置、
底確認できず。

今回の活動はこれにて打ち切り、撤収開始。

18:10 撤収完了

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

第2次青海小穴調査記録

{ 大阪大学
大阪市立大学 } 合同パーティー
{ 関西大学 }

期 日: 昭和40年10月8日~10月13日

隊員構成: 三戸 (O.L. 関大)、平田 (S.L. 市大)、山本 (和) (S.L. 阪大)
松本 (装備・関大)、小島 (装備・市大)、山本 (民) (装備・阪大)
矢木 (食糧・阪大)、小川 (阪大)、高倉 (阪大)、衣畑 (阪大)
藤井 (関大)、夫婦岩 (関大)、川上 (関大)、岡崎 (関大)
高橋 (関大)、水島 (関大)、岩本 (関大)、原田 (市大)

10月 8日

19:00 大阪駅中央口集合

20:06 大阪駅出発

10月 9日

7:40 青海駅着

同時に荷上げ

10月10日～12日

調査活動

10月13日 解 散

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

第3次青海小穴調査記録

記・松 本 澄 夫

期 日：昭和41年10月29日～11月5日

隊員構成：三戸（C.L.）、夫婦岩（S.L.）、佐保野（O.B.）、馬場（医療・写真）、松本（会計・記録）、岡崎（食糧）、水島（装備）、川上、渡辺、岩本、梅田、藤原、木本、金子、西田、滝

10月29日

18:00 大阪駅集合

20:06 新潟行にて三戸以下16名元気に出発

10月30日

7:36 青海駅着

井上、松野、渡辺各氏の歓迎を受く。

9:30 南ベンチ出発

渡辺氏も同行

13:40 テント場（B.C）着

14:10 A班：ルート66のワイヤ梯子設置

三戸以下9名

B班：テント設営

松本以下7名

10月31日

6:50 入洞開始

A班：孤独の滝のワイヤ梯子設置

第1テラス（孤独の滝の上から第1番目のテラス）に確保用ボルトを打ち込む。第ⅢHに達す。

三戸、川上（2名下降）、夫婦岩、水島、藤原

B班：A班の確保、ルート66のトランシーバー連絡

馬場、佐保野、岡崎、渡辺、岩本、梅田

C班：洞口にてA、B班の確保

松本、木本、西田、滝、金子

18:05 全員出洞

11月1日

6:40 入洞開始

A班：第ⅢHにて220m横穴本道発見、40m（推定）の竪穴発見、第ⅢH～第ⅡHの測量

松本、水島、岩本

B班：A班確保、洞口～第ⅠH～第ⅡHのトランシーバー連絡

馬場、夫婦岩、岡崎（孤独の滝の第1テラス）、梅田、藤原

C班：洞口にてA、B班の確保

三戸、佐保野、川上、渡辺、木本、金子、西田、滝

17:05 全員出洞

11月2日

7:10 入洞開始

A班：第ⅣH～第ⅤH地点アタック

馬場、松本、渡辺、水島、岩本

B班：第ⅡH～第1テラス地点確保

三戸、川上、夫婦岩（第1テラス）、藤原

C班：ルート66のワイヤ梯子切離設置（岡崎）

洞口にて確保

佐保野、梅田、木本、西田、滝、金子

昨夜来の雨のため、地下水急増、第ⅡHの確保さえも困難なため、孤独の滝下降無理と判明、明日もこの増水の状態から活動不可能、孤独の滝のワイヤ梯子撤収

13:50 全員出洞

11月3日

7:55 出発

A班: 洞内測量、写真撮影、採集、ワイヤ梯子撤収

三戸、佐保野、馬場、夫婦岩、渡辺、水島、梅田、藤原、木本、
西田、滝、金子

B班: 周辺洞窟偵察、2洞窟(竪穴)発見

松本、岡崎、川上、岩本

18:20 夕食

活動経過、反省、苦勞談にて夜遅くまで花を咲かせる。

11月4日

7:10 朝食

9:10 下山

12:00 南ベンチー糸魚川まで乗車させてもらう。

13:15 糸魚川にて解散

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

第4次青海千里洞調査記録

記・梅田雅宏

期 日: 昭和42年8月15日～8月29日

隊員構成: 水島 (O.L.)、岩本 (S.L.)、藤原 (食料)、梅田 (記録)、木本 (装備)、
末房 (S.装備)、中田 (S.食料)、榊谷 (会計)、松村 (写真)、角野 (医療)、
森下 池田 (O.B.)、佐保野 (O.B.)、三戸 (O.B.)、松本 (O.B.)、
特隊…渡辺 (青海町役場) 藤田、服部 (朝日新聞社)

8月15日

9:00 部室前集合

20:14 新大阪駅より水島以下11名多数の見送りを受け、元気に出発。

8月16日

7:39 青海駅着 渡辺、藤田、服部、森、各氏の歓迎を受く。

8:20 日本石灰石開発株式会社(以下会社という)専用バス及び役場トラックにて、
青海駅を出発。

渡辺、藤田、服部各氏同行

9:50 会社採掘場着

この間、会社にて井上氏の歓迎を受く。

7:00 入洞開始

- A班：第ⅣH以下アタック
岩本、梅田、木本、榎谷、中田、角野
- B班：第ⅡHにてアタック隊確保、中間連絡
水島、松村、藤田
- C班：洞口にて確保
藤原、末房、森下、渡辺、服部

18:30 第ⅢH（樞鳳の間）にA班全員降下完了

A班、第ⅢHにビバーク B班全員出洞

21:30 O.Bの池田、佐保野、三戸、松本各氏来る。

8月21日

- A班：第ⅣH以下のアタック
アタック隊変らず。
- B班：樞鳳の間、夫婦岩までの調査
池田、佐保野、松本、渡辺、服部
- C班：第ⅠH、第ⅡH中間点連絡及びB点でのB班確保
藤原、末房、三戸
- D班：洞口にてB班、C班の確保
水島、松村、森下、藤田

[A 班]

6:30 起床

9:00 アタック開始

- a班：第ⅣH以下アタック 梅田、中田
- b班：第ⅣHにて確保 岩本、木本、角野
- c班：A、CにてB、C班との連絡 榎谷

この時、昨年の最終地点より20m降り、第ⅤH発見、第ⅤHより以下階段状のチムニー（五段坂）があり、第ⅤHより35m降下す。〔-345m〕
昼食後アタックメンバー交代す。

- a班：岩本、木本、榎谷
- b班：梅田、角野
- c班：中田

アタック隊、第ⅤHにボルトを打ち、以下の5段坂にワイヤ梯子を設置し、第ⅤHより40m降下す。〔-350m〕

12:00 B班、第ⅣH（夫婦岩）まで来たる。写真撮影後引返す。

14:00 アタックを終え、A.Cへ引揚げらる。

B、C班全員出洞

20:00 就寝

8月22日

- A班：第1次アタック隊
変らず
B班：中間点及び第ⅡHにてA班引揚げ確保
水島、藤原、松村、森下、三戸
C班：洞口にてA及びB班確保
末房、池田、佐保野、松本、服部、藤田

6:30 起床

B班入洞開始

7:30 アタック隊第ⅣH以下アタック開始

- | | |
|----------------------|-------|
| a"班：五段坂以下のアタック及び写真撮影 | 梅田、木本 |
| b"班：第ⅤHにてa"班の確保及び連絡 | 中田 |
| c"班：第ⅣHにてa"、b"班確保 | 岩本、榎谷 |
| d"班：第ⅢHにてB班との連絡 | 角野 |

第ⅣH～第ⅤHの20mワイヤ梯子を切り離し、アタック用につなぎ、昨日の最終地点より20m降下するが、底へ到達できず、まだ40mの堅穴が続く見込み。

10:00 第ⅤHより引揚げる。

11:00 A、C引揚げ開始

19:00 A班全員、60時間の洞内活動を終え出洞

洞口には暖いコーヒーとゆでたまご、そして夜空にはくっきりと月が待っていた。

20:00 B班全員出洞

21:45 ミーティング

アタックの成果、経過、苦勞、反省話

22:00 就寝

8月23日

6:30 起床

ミーティング(第2次アタック計画を第1次アタックの経験、反省のもとに練りなおす)

9:00 付近の偵察

直径40mの大ドリーネ発見す。青海千里洞より北東方向にあり、全体が雪溪でうもれていて、端に堅穴がある。(銀路洞(ギンブキドウ))

15:00 第2次アタック用食糧・装備の整理

21:00 就寝

8月24日

O.B.の佐保野、三戸、松本各氏下山す。

6:30 起床

9:00 入洞開始

A班:第2次アタック隊

水島、藤原、末房、松村、森下

B班:第ⅡHにてA班確保、中間点連絡

梅田、榎谷、角野

榎谷、70mワイヤ梯子の20m切り離しの為、途中まで降下

C班:洞口にてA、B班の確保

岩本、木本、中田、島田

18:30 B班、全員出洞

22:15 就寝

8月25日

O.B.の池田氏下山

7:00 起床

A班:アタック隊

変らず

B班:第ⅠH、第ⅡH、中間点連絡

岩本、木本、榎谷、中田、島田

C班:洞口にてB班の確保

梅田、角野

9:00 B班、入洞開始

昨夜の雨のため、洞内、多水量でルート0が水でつまり、アタックできず。

13:00 B班、全員出洞

21:00 就寝

8月26日

6:30 起床

A班:アタック隊

変らず

B班:第ⅡHにてA班確保、荷物引揚げ

梅田、木本、中田、角野

角野、70mワイヤ梯子切り離し部分接続のため、途中まで降下

C班:洞口にてA、B班の確保

岩本、榎谷、(角野)

8:30 B班、入洞開始

20:30 A、B班、全員出洞

アタック隊は地底の嵐を経験し、60時間の洞内活動を終え無事出洞す。洞口には、たき火が待っていた。そして三日月が我々を祝福しているようである。

22:00 ミーティング

アタックキャンプ (A.C.) の話に花を咲かせる。

24:00 就寝

8月27日

9:00 起床

全員、完全休養す。

21:30 就寝

8月28日

6:00 起床

A班: 第ⅡHにて70mのワイヤ梯子の撤収

岩本、木本、楢谷、角野

B班: 第ⅡHから第ⅠHまでの荷物運搬

水島、藤原、木房、松村

C班: 洞口にてA、B班の確保及び荷物引揚げ

梅田、中田、森下

8:00 A、B班、入洞開始

14:30 全装備撤収完了 全員出洞

15:30 装備整理

21:00 就寝

8月29日

6:30 起床

9:00 B.C.発

13:15 会社着

全員入浴させていただき、全員2週間のあかを落し、さっぱりする。それに会社、役場の成功歓迎会で受ける。

14:40 会社より、バスにて糸魚川に向う。

15:30 国鉄糸魚川駅にて解散



第 5 次 青 海 千 里 洞 調 査 記 録

記・内 田 典 夫
中 沢 正 明

期 日：昭和43年8月3日～8月20日

隊員構成：木本 (C.L.)、西田 (S.L.)、森下 (S.L.)、榎谷 (装備)、角野 (食糧)、
松村 (会計)、横田 (気象)、中田 (写真)、内田 (記録)、三宅 (S.写真)、
久保 (S.装備)、松浦 (S.装備)、北条 (S.食糧)、秦 (医療)、中沢 (S.記録)、
水島、岩本、梅田、佐保野、三戸、渡辺 (青海町役場)、出原 (朝日新聞社)

月 3 日 (土)

- 12:00 部室前集合、 装備点検、 バッキング開始
- 14:30 バッキング終了
- 15:00 出発
- 16:00 大阪駅中央改札口着
- 19:30 改札
- 20:06 大阪駅11番線より新潟行普通列車で出発
土曜日なのでかなり混む。京都より超満員

月 4 日 (日)

- 7:36 青海駅着、朝食
水島、渡辺氏と合流
- 7:50 青海町役場トラックに、荷物積み込む。
角野、北条同乗
- 8:00 役場トラックにて日本石灰石開発株式会社 (以下会社という) まで、木本、
松村同乗
- 8:35 役場より、梅田以下隊員11名と渡辺氏、会社専用バスにて出発
角野、北条、食糧購入
- 9:25 福来口付近でトラックに乗りかえ、林道最終点到着、昨年に比らべ、林道の
開発かなり進行。
- 9:45 出発
- 9:50 まもなく行手不明
木本、森下偵察
- 10:25 出発
林道より急勾配の坂を降りる。
- 11:20 大きな沢より別れ、まもなく昨年と同じ場所に出る。
第1昼食
- 11:30 予定通りハッパ

第 5 次 青 海 千 里 洞 調 査 記 録

記・内 田 典 夫
中 沢 正 明

期 日：昭和43年8月3日～8月20日

隊員構成：木本 (C.L.)、西田 (S.L.)、森下 (S.L.)、榊谷 (装備)、角野 (食糧)、
松村 (会計)、横田 (気象)、中田 (写真)、内田 (記録)、三宅 (S.写真)、
久保 (S.装備)、松浦 (S.装備)、北条 (S.食糧)、秦 (医療)、中沢 (S.記録)、
水島、岩本、梅田、佐保野、三戸、渡辺 (青海町役場)、出原 (朝日新聞社)

8月3日 (土)

- 12:00 部室前集合、 装備点検、 バッキング開始
- 14:30 バッキング終了
- 15:00 出発
- 16:00 大阪駅中央改札口着
- 19:30 改札
- 20:06 大阪駅11番線より新瀉行普通列車で出発
土曜日なのでかなり混む。京都より超満員

8月4日 (日)

- 7:36 青海駅着、朝食
水島、渡辺氏と合流
- 7:50 青海町役場トラックに、荷物積み込む。
角野、北条同乗
- 8:00 役場トラックにて日本石灰石開発株式会社 (以下会社という) まで、木本、
松村同乗
- 8:35 役場より、梅田以下隊員11名と渡辺氏、会社専用バスにて出発
角野、北条、食糧購入
- 9:25 福来口付近でトラックに乗りかえ、林道最終点到着、昨年に比べ、林道の
開発かなり進行。
- 9:45 出発
- 9:50 まもなく行手不明
木本、森下偵察
- 10:25 出発
林道より急勾配の坂を降りる。
- 11:20 大きな沢より別れ、まもなく昨年と同じ場所に出る。
第1昼食
- 11:30 予定通りハッパ

- 11:50 出発
- 12:10 ブッシュ多く、歩行困難
- 12:30 ますますブッシュ多く、走破難行
数名ブッシュこぎに出かける。
- 14:30 ようやくテント場 (B.C) 到着
テント設営、水島偵察、第2昼食
昨年に比らべアブ少なく、水場も速い。
- 18:40 夕食
- 19:00 ミーティング
- 19:05 就寝

8月5日 (月)

- 6:00 食事当番起床
- 7:35 朝食
- 8:00 撤収
- 9:03 第2次荷上げ出発
- 10:10 林道最終点着
渡辺氏、西田、角野、北条と合流
- 11:00 第1昼食
- 11:20 終了、水島帰路
- 11:40 出発
- 13:20 B.C. 着、小雨バラつく。
- 14:10 第2昼食
- 15:00 洞口偵察、ワイヤ梯子設置
- 15:40 木本入洞
梅田、松村、栢谷、滑車設置
- 16:30 森下入洞
- 17:00 滑車設置完了
- 18:00 両者、出洞
- 18:20 夕食
- 19:35 ミーティング (洞内報告、明日の予定)
- 21:00 就寝

8月6日 (火)

曇り、一時小雨、後晴

- 6:00 起床
- 6:15 朝食、アブ増え始める。
- 6:40 終了、渡辺氏下山
調査隊、装備準備

7:30 出発

8:30 { A班:梅田、松浦、入洞(第ⅤHまで)
B班:西田、森下、三宅、入洞(第ⅤHまで) 装備類を同時に降ろす。
C班:洞口確保-中田、内田、久保
D班:荷物、ザイル操作-木本、松村、中沢
アタック用装備、食糧整備

10:00 第1昼食

16:00 第2昼食

18:20 夕食

18:45 ミーティング(アタックメンバー発表)

8月7日(水)

A班:アタック隊

木本、榎谷、角野、中田、松村、内田、久保

B班:第ⅡHにおいてA班の確保及び洞口とのトランシーバー連絡
西田、森下、横田、北条

C班:洞口にてA班、B班の確保

梅田、三宅、松浦、秦、中沢

5:50 起床

6:10 朝食

6:30 同 終了

7:30 B、Cを出発

8:30 A班(アタック隊)入洞、同時に荷降ろし、滑車使用
角野、榎谷、内田、久保、中田、松村、木本の順に入洞

11:15 第ⅡHにてB班、A班を確保

12:30 森下入洞で完了

洞口第1昼食(C班)

13:00 佐保野氏、洞口到着

13:30 にわか雨降り始める。

14:50 洞口にてC班及び佐保野氏、第2昼食

17:00 B班出洞開始

18:00 三宅、中沢夕食用意

20:30 西田を最後に出洞完了

21:10 夕食

23:00 就寝

[A 班]

13:30 A、B班、第ⅡHにて第1昼食

水量は少ない

14:30 角野、中田、松村、榎谷の順に第ⅢHに降りる。

その後、荷降ろし、滑車使用、(第ⅡH、気温、水温とも2.5℃)

ザイルや荷の引掛かりのため木本第1テラスまで降下、途中第ⅡHのボルトとび、打ちなおす。

荷降ろし完了後、木本降り、内田がサブザックにハンマー、トランシーバー2個を入れ、降下、最後に久保がニッコーライトをもって降りて行く。

18:05 A班全員、A.C.(アタックキャンプ、第ⅢHにて)地に到着、後発3名が着くころには、A.C.設営すでに完了。

第ⅢH～第ⅣH間、インターホーンコード設置

19:00 夕食

(第ⅢH・気温、水温とも2.5℃、湿度100%) (第ⅣH・気温6℃)

8月8日(木)

A班：アタック隊

変らず

B班：第ⅣHまでの測量、写真撮影

西田、三宅、佐保野氏

C班：第ⅠH～第ⅡH測量、B班確保

梅田、中沢、秦

D班：洞口にてB班、C班の確保

森下、横田、松浦、北条

5:00 起床

6:35 朝食

7:55 出発

8:20 B班、C班入洞開始

18:00 B班、C班全員出洞

19:15 夕食

20:30 ミーティング

22:00 就寝

[A 班]

4:00 全員、目がさめる。再び眠る。

9:00 起床

9:15 第ⅡHと交信開始

9:30 朝食

10:30 A.CよりA班活動開始、三宅降下

a班：最深部アタック

木本、松村、角野

b班：第ⅤHにてa班確保。第ⅢH及び最深部とのインターホーン連絡

梶谷、内田、久保

c班：第ⅢHにてB班、C班及びb班との連絡

中田

- 12:00 中田、三宅、第ⅢH～第ⅣH間写真撮影
 14:30 五段坂下の「千水の滝」部分のワイヤ梯子セッティング完了。これよりア
 タック。(第ⅤH(最深部、我鬼の水たまり)気温、水温とも5.0℃)
 15:00 青海千里洞最深部極める。
 16:30 a班第ⅤHまで出洞。
 17:00 a班、b班、昼食
 18:00 第ⅣHに出洞(a班、b班)
 19:00 夕食
 20:00 就寝

8月9日(金)

- A班：アタック隊
 変らず
 B班：第ⅢHの測量、採取
 森下、横田、北条
 C班：B班の確保、連絡
 三宅、松浦、梅田
 D班：B班、C班の確保
 西田、中沢、秦

- 5:00 起床
 6:50 朝食
 8:00 出発、佐保野氏テント・キーパーとしてB.C.に残る。
 8:30 B班、C班、入洞開始
 10:30 全員入洞後、雨がかなり激しく降り始める。
 12:00 D班第1昼食、雨止む気配なし。
 14:00 D班第2昼食
 18:00 夕食用意、内田、久保出洞
 20:00 夕食、ミーティング

[A 班]

- 8:00 起床
 8:30 朝食
 9:00 交信開始
 10:00 活動開始

- a班：最深部、測量、岩石採取、写真撮影
 楢谷、中田
 b班：五段坂において中間連絡
 角野、内田
 c班：第ⅤHにて、a班を確保、第ⅢH～最深部間連絡
 木本、松村
 d班：第ⅢHにて、第ⅡH～第ⅤH間連絡
 久保

- 12:00 五段坂より、角野、榎谷、内田、食紅(5.5kg)を流す。
- 14:30 昼食、後、第ⅢH～最深部間、装備類撤収
- 16:00 B班と内田、久保第ⅡHに出洞、青、緑、白……あゝすばらしい!
- 19:00 全員洞口に出洞
- 20:00 ミーティング
- 内田、久保より最深部アタック報告

8月10日(土)

曇り、後、晴

- A班：第ⅢHよりの荷揚げ、運搬
木本、松村、中田、榎谷、角野
- B班：A班の確保(第ⅡHにて)及び第ⅡH→第ⅠH間荷物運搬
梅田、内田、中沢、久保、秦
- C班：洞口においてA班、B班の確保及び荷物の引揚げ
森下、横田、三宅、北条、松浦
- 5:30 起床
- 7:00 朝食
- 8:40 出発
- 9:15 梅田、内田、久保、秦、中沢の順に入洞
- 10:00 荷物の引揚げ開始(第ⅢH→第ⅡH)
まず松村、中田、角野、第ⅡHに到着、続いて荷物引揚げ、滑車使用、途中
荷物がひっかかり、内田第1テラスまで降下
エンヤトットのかけ声、勇ましいけれどB班、A班にも増して疲労の色濃し。
- 14:30 終了
全員第ⅡH→第ⅠH間荷物運搬
- 16:30 外はかなり暗くなっている模様、さし込む光がぼんやり。
- 21:15 入洞者、装備等、洞口へ引揚げ完了
雪溪の上で記念撮影
- 23:00 夕食
- 0:00 ミーティング(苦労談、活動経過報告、反省等)
アタック成功を告、喜びあい、感激にひたり、夜遅くまで花を咲かせる。

8月11日(日)

晴、夜雨

- 7:30 起床
- 9:00 朝食

- 10:00 荷物運搬(洞口→B.C.)
木本、内田、朝日新聞社井原記者を林道最終点まで見送る。
- 11:00 林道、飯場到着
昼食(B.C.においても)
- 12:15 岩本、三戸氏、林道最終点下で出会う。
福来口から瀧沢を通り、4時間もかかったらしい。
- 13:30 B.C.到着
- 19:00 夕食
- 21:40 就寝、一日中休養日であった。

8月12日(月)

- 6:00 起床
- 8:00 朝食
- 10:00 偵察予定、雨天のため、12:00に延期
- 12:00 昼食、晴
- A班:新マイコミ付近洞窟偵察
三戸、岩本、松村、三宅、秦、久保
 - B班:銀露洞(ギンブキドウ)付近洞窟偵察
梅田、木本、角野、榎谷、中田、横田、内田、北条、中沢、松浦
テント・キーパー
森下
- 16:30 両班とも発見できず、B.C.帰着。しかし、B班は別に大きな洞窟(銀鳳洞)を発見せり。
- 18:00 夕食

8月13日(火)

- 7:00 朝食
- 9:00 偵察出発
- A班:銀露洞偵察
三戸、岩本、梅田、角野、榎谷、中田、内田、久保、秦
 - B班:銀鳳洞偵察
木本、森下、松村、三宅、中沢、松浦、北条
テント・キーパー
横田
- A班、60mほど降下、底はどろ多く、期待はずれの感あり、横穴もほとんど

どつまっていた。B班、なかなか新洞の銀鳳洞見つからず、2名ずつ偵察開始、まもなく発見。

15:45 B.C.着

18:30 夕食

8月14日(水)

9:00 朝食

装備類、整理、後始末

10:00 朝日新聞社記者、新潟日報記者、町助役、渡辺氏が来られる。

12:00 昼食

来訪者、千里洞、銀鳳洞など視察

13:00 三戸氏帰られる。

18:00 夕食

8月16日(木)

6:00 起床

7:00 朝食

9:00 B.C.出発

11:00 林道着

役場トラックで下山

会社で入浴させてもらう。

12:20 バスにて糸魚川へ出発

途中、角野、内田、久保の黒姫山周辺偵察班下車

13:00 糸魚川着

13:15 糸魚川にて解散

10:00 採掘場発

17:32 テント場(B.C)着、テント設営。

21:30 就寝

8月17日

6:00 起床

8:15 Route66のワイヤ梯子フックス開始

9:30 梯子設置終了

多水量の為、孤独の滝のワイヤ梯子設置を取り止め、テント場へ戻る。

14:00 付近(新マイコミ等)偵察出発

16:00 偵察後、全員テント場着

22:00 就寝

8月18日

5:00 起床

6:30 第2次荷上げの為、全員下山、テント場発

10:30 会社着、途中、渡辺氏に会う。

{ A班:食糧、装備購入 藤原、木本

{ B班:荷物整理 水島以下9名

14:40 会社よりトラックにて出発

15:00 採掘場発

18:45 テント場着

22:30 就寝

8月19日

7:30 起床

午前中全員、食糧、装備の整理

14:00 入洞開始

{ A班:洞内第I H、第II Hの偵察、洞口確保

岩本、梅田、末房、榎谷、森下、渡辺、藤田、服部

{ B班:B.Cにてアタック用食糧、装備の整理

水島、藤原、木本、中田、松村、角野

19:00 全員出洞

21:30 就寝

8月20日

5:00 起床